

## 取材のご案内

京丹後市×トロント大学・スタンフォード大学研究者と連携  
次世代のリーダーを育成する「Kyotango Sea Labo」が本格始動！  
～高等教育機関が存在しないまち 京丹後市が仕掛ける新たな試み～

令和4年9月8日

京丹後市教育委員会

東京からもっとも遠いまちの一つである本市は、大学をはじめとする高等教育機関が存在しないなど教育における地理的なハンディキャップを抱えています。

一方で、本市はこの課題解決として、教育 DX（デジタル・トランスフォーメーション）を活用し、英語力向上アプリ「ELSA Speak」を市内全中学2年生が学校等で使用するタブレットに導入したり、大学と連携したプログラミング学習を導入したりするなど、地理的ハンディキャップを超えた質の高い教育機会の提供に取り組んでいます。

このたび、更なる教育機会の充実を図るとともに、「国際感覚を持ち、グローバル社会で活躍できるイノベティブなリーダー人材を育成する」ことを目的に、新たな試みとして「どこまでも広がる 未来のまちを創造する Kyotango Sea Labo」（以下「本プロジェクト」という。）を9月17日（土）から本格始動させます。本プロジェクトにより、力をつけた子どもたちが将来グローバル社会で活躍し、本市発展の担い手となっていくことを期待します。

9月17日（土）～19日（月・祝）には、STEAM 人材育成を牽引するトロント大学の木島里江准教授、スタンフォード大学のヤング吉原麻里子講師等現役研究者ら並びに同人が共同設立した一般社団法人スカイラボ（※1）のチームを本市にお招きし、市内の中学3年生・高校2年生計35名とそれをサポートする京都・大阪の大学から集まった大学生9名、地元企業関係者9名とともにシリコンバレーで注目される発想のメソッド「デザイン思考」を学び、クリエイティブな考え方を身につけて本市の未来を切りひらくイノベーターを育成する探求型ワークショップを英語で開催します。本市が両大学の関係者をお招きし、取り組みをすることは初めてです。

ワークショップ期間中の取材については、次ページのとおりですが、**9月17日（土）13時40分～16時00分**に取り組む、**参加生徒による地元企業関係者の人柄にせまるインタビュー及びインタビューを基にした個人やチームでの活動が特に見どころ**となっていますので、ぜひ取材（撮影）いただけますと幸いです。

なお、参加者等へのインタビューについては、3日間とも、プログラム終了後に設定しており、参加生徒、大学生、木島里江准教授・ヤング吉原麻里子講師ら研究者へインタビューいただくことが可能です。また、9月17日（土）については、松本明彦京丹後市教育長も同席いたします。

## 【概要】

1. 日時 令和4年9月17日（土） 9：00～16：10（Day3）  
18日（日） 9：00～16：10（Day4）  
19日（月・祝）9：00～16：30（Day5）
2. 会場 丹後王国「食のみやこ」情報交流センター（京都府京丹後市弥栄町鳥取123）
3. 取材に係るお願い
  - ・プログラムの進行に影響のないよう、撮影にご協力をお願いします。
  - ・プログラムの進行上、撮影していただける場면을限定しています。

**<見どころ！>9月17日（土） 13時40分～16時00分**  
<その他撮影可能場面>

9月18日（日）9時45分～10時15分（30分間） ニーズの抽出  
14時00分～14時40分（40分間） ユーザーフィードバック

  - ・各日程、プログラム終了後にインタビューをしていただける場面を設定します。プログラムの進行状況により、開始時間が遅れる場合がありますのでご了承ください。

※9月17日（土）・18日（日）16：10～16：20（10分間）  
9月19日（月・祝）16：30～16：40（10分間）  
※インタビュー対象者 参加生徒、大学生、木島里江准教授・ヤング吉原麻里子講師ら研究者。**（9月17日のみ松本明彦京丹後市教育長同席）**
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、来場時には、マスクの着用、検温、手指消毒等にご協力いただくようお願いします。また、会場の広さに限りがありますので、見学者が多い場合には入場を制限する場合があります。
4. その他  
その他概要は添付資料のとおり

## 【備考】

- ※1 一般社団法人スカイラボ
- ・スタンフォード大学で博士号を取得し、シリコンバレーで子育てをしていた日本出身の女性たちが、教育や人文・社会科学といった自分たちの専門性を使って、STEM 領域の男女格差を是正するために何かできないだろうかと、スカイラボを2016年に設立。
  - ・スカイラボが設立以来手掛けてきた“デザイン思考を英語で学び人間中心のアプローチでSDGsの社会課題に取り組む女子高生対象のSTEAMワークショップ”が公益財団法人日産財団が主催する本年度の第5回リカジョ育成賞の申請者26件より準グランプリを受賞。

[問い合わせ先]

京丹後市教育委員会事務局学校教育課

TEL 0772-69-0620/FAX 0772-68-9061

Mail gakkokyoiku@city.kyotango.lg.jp



KYOTANGO  
SEA LABO

- 教育DXの進展を契機として、時間・空間の不利を克服した特色ある教育モデルを東京からもっとも遠いまちのひとつである京丹後市から構築します。
- 京丹後市の有する素地を生かした教育により、地域の有する可能性を最大限に伸ばすとともに、そうした教育を核としたまちづくりを進め、地方創生の実現を目指します。

### 京丹後市の現況

- ✓ 京都府最北端の人口5万人のまち
- ✓ 東京から最も遠いまちの一つ(約5時間)
- ✓ 高等教育機関が存在しないまち



地理的ハンディキャップを超えた質の高い教育機会を提供することが重要

### 産業×人材育成



- ✓ 200社以上の機械金属業関連会社が集積
- ✓ あらゆるニーズに対応するハイテク総合産地
- ✓ 日本の文化・芸術の核である京都の中にあつて、300年の歴史を有する丹後ちりめんの最大の産地
- ✓ 大起業家の松本重太郎氏の生まれ故郷
- ✓ 鉄道や紡織産業等のSTEAM分野にも関連するキ・インダストリーの勃興

最先端と伝統が根付く産業構造に対応した人材の育成が重要

### 教育機会



iU情報経営イノベーション専門職大学と連携したプログラミング教育等の実施



シリコンバレー発の発音矯正アプリを全国の公立中学校で初めて導入(中2全生徒に導入)



デジタルを活用し、京丹後市を題材とした起業アイデアに係る全国大会の実施



地域に根差した特色あるカリキュラムの「丹後学」を小3～中3まで一貫して実施

テクノロジーも活用して多様な教育機会を有機的に結びつけることが重要



- 海外大学や地元企業、バイリンガル大学生等と連携し、市内の中高生を対象としたデザイン思考を核としたプログラムを英語により展開し、3年間かけて京丹後市版のSTEAM人材育成のためのプログラム開発を行います。
- プログラムを通じて、京丹後市の良さを学び、コミュニティの課題を考え、STEAM人材として人間中心のグローバルな発想を身に付けて、京丹後市の未来をデザインする次世代リーダーを育てます。

ワークショップ(全6日間)



SDGsを切り口として、STEAM関連の地元企業から仕事の魅力や抱える課題等を中高生に共有



各グループで企業ユーザーを選定し、インタビューを通じてユーザーが抱える個人レベルのニーズや課題を深掘り



課題解決に資するアイデア出しを行い、ユーザーからのフィードバックをもらいながらプロトタイプ化



試行錯誤を繰り返しながら、最終的なプロダクトをユーザーに対して英語でプレゼンテーションを実施

<デザイン思考>

1. 共感：ユーザーの言動を観察し、ニーズや問題を探る
2. 問題定義：ユーザー自身も気づいていない本質的な課題を抽出し、定義してみる
3. アイデア創出：課題を解決するためのアイデアを考える
4. プロトタイプ：アイデアを形にする
5. テスト：プロトタイプをユーザーに試して改良の糸口をもらう

※バイリンガルの大学生がサポートに入りながら、英語を基本として展開

リサーチ



ワークショップの前後でアンケート等を実施



トロント大学とスタンフォード大学の研究者を中心に分析を実施(学力調査とのクロス分析等含む)

- ・ 創造性への自信の向上
- ・ 自己肯定感の向上
- ・ キャリアに対する意識変革
- ・ STEAM分野の学力向上

プログラム開発



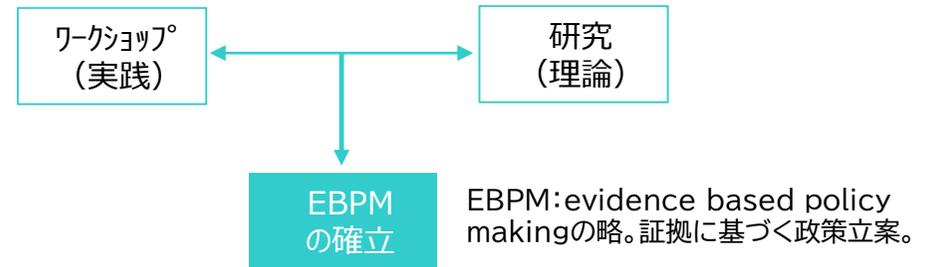
左記サイクルを3年間まわすことにより、プログラムを確立



教育課程内におけるSTEAM教育の実践



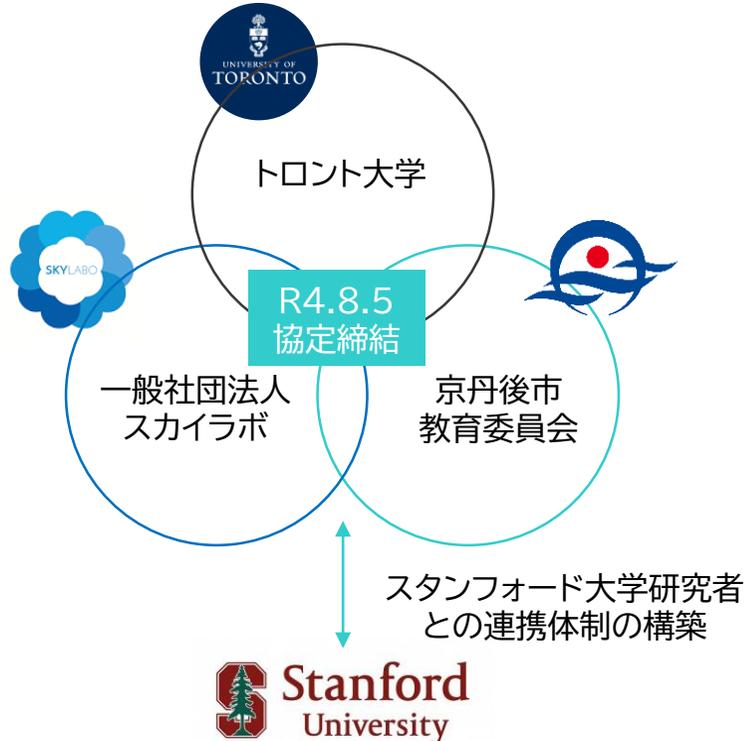
理論と実践を往還することで、EBPMによる教育施策を展開



- 海外大学等と協定を締結し、持続的に新たな学びを実現していくための体制を構築しています。
- 自ら手を挙げた市内の中高生35名(中学生28名、高校生7名)の学びを多様な主体と世代でサポートします。

### プログラムの運営体制

- ✓ STEAM教育の専門性を有する組織と研究力に長けた大学との連携体制を構築
- ✓ プログラムの運用から開発までを一貫して一体的に実施



### プログラムの支援体制(地元企業・大学生)

- ✓ 9名のバリエーションの大学生を選抜(関西外国大学、京都産業大学、同志社大学、立命館大学)
- ✓ ボランティアでデザインコーチとして中高生の学びをサポート



- ✓ 伝統的なものから最先端のものまで、9つの地元企業等がそれぞれの魅力を学びの素材として中高生に提供

#### <参画地元企業等>

- ・ 木下酒造有限会社(日本酒蔵元)
- ・ 株式会社Sazae Japan(ITコンサルティング等)
- ・ 株式会社U設計室(建築設計)
- ・ 社会福祉法人みねやま福祉会(児童・高齢者・障害福祉)
- ・ 田勇機業株式会社(織物)
- ・ 丹後織物工業組合(織物)
- ・ 日本玄承社(刀鍛冶)
- ・ ヒロセ工業株式会社(精密部品加工・金型)
- ・ 描く人(デザイナー兼アーティスト)

※一般社団法人スカイラボ: STEAM教育により、次世代のイノベーション人材を育成する非営利団体



Kyotango Sea Labo プログラム'22のスケジュール

	Day 1(オンライン) サステナビリティとは 8月11日(木・祝)	Day 2 京丹後市のよさと課題 8月27日(土)	Day 3 エンパシーとは 9月17日(土)	Day 4 デザイン思考サイクル 9月18日(日)	Day 5 プレゼンテーション 9月19日(月・祝)	Day 6 振り返り 10月1日(土) (一部:10月3日(月))
9:30	Opening Ceremony Ice breaker activities	Day 1の振り返り チームのラポール形成	プログラムゴール デザインチャレンジ	9:45-10:15 デザイン思考 第2フェーズ ニーズの抽出 (Capture Needs)	プレゼンの仕方 プレゼン作成	振り返り (オンラインで実施)
	SKY Labo とは デザイン思考とは テーマ発表 “Sustainability”	ユーザー講話③	エンパシーとは インタビューの仕方	デザイン思考 第3フェーズ 発想 (Brainstorm Solutions)	プレゼンしてみよう!	取材可能な場面 + 17日~19日 終了後の 囲み取材も可能
	グループ顔合わせ ※DC含む	京丹後市リサーチ交流 ユーザー選考				
13:00	昼食	昼食とチームのラポール形成の時間				
	ユーザー講話を進める ための準備	取材していただ きたい場面	13:40-14:40 ユーザーインタビュー	14:00-14:40 デザイン思考 第4フェーズ ユーザーフィードバック (Get Feedback)	最終プレゼン	
	ユーザー講話 京丹後のよさを学び、 コミュニティや各領域 の課題を知ろう! ユーザー講話① ユーザー講話②	生徒の理解を重視し、 日本語でやり取りを 進めます。	15:00-16:00 デザイン思考 第1フェーズ 共感マップ (Empathy)	デザイン思考 第5フェーズ 可視化 (prototype)	修了式	
16:00			16:10~16:20	16:10~16:20	16:30~16:40	

